

館林駅 東口

日本一
暑い街だもの！

ママ！
なんでこんな
暑いのか？

でもこの
モデルハウスの中は
家中どこでもずっと
涼しいね。

本当ね。
エアコンも
1台だけなのに
どうしてかしら。

まあ！
どうして
かしら!?

見て！
外が40.9度なのに
室温26.0度を
キープしてる！

室温 :26.0℃
外気温:40.9℃

誰!?

ふふふ。
その疑問、
私がお答えします。

「超断熱」と「非・超断熱」を徹底検証！

KOMOTO STYLE Vol.14

2016 Autumn-Winter

AR搭載号

超断熱 体感型モデルハウス
『komachi』への行き方を
動画でチェック！

詳細は
裏面へ



report 1 N様 (60代・館林市下三林町)

「今後建て替えるなら、家の中に段差のない平屋建てがいい」というN様ご夫妻。加えて着目しているのが、夏の暑さや冬の寒さの中でも快適に過ごすための断熱性能だといいます。さまざまな場所で住宅の断熱材を目にしてきたものの、その効果を本当に納得できることは少なかったのだとか。酷暑の中『komachi』に来場いただき、「今日の気温でもこれだけ涼しく過ごせるなら大丈夫そう」と太鼓判。外観から内装へと続く天然木の風合いに「シックでいいですね」というご主人に続き、奥様も「本当に素敵。住んでみたいわ」と笑顔で話してくれました。

report 2 S様 (50代・館林市大街道)

ご両親のために、暮らしやすい家づくりを考えているというS様。スッキリとした平屋造りの『komachi』は夫婦2人の暮らしに最適なのではないかと興味を持ち、ご来場くださいました。

「現在の家は両親が2人で住むには広すぎるようで。それに水周りの老朽化も気になるので、河本工業さんにいろいろ相談にのってもらいました。」

そう語るS様に、『komachi』を訪れて一番印象に残った点を伺ったところ、「やはり断熱効果ですね。全室どこにいても涼しいのには驚きました」とのこと。部屋がドアで区切られていないことに関して、「夫婦2人なら全く問題ない」と感じたそうです。



report 3 K様 (50代・館林市岡野町)

娘さんと一緒に来場されたK様。実は以前に一度、『komachi』を訪れたことがあるのだそうです。「今の住まいは築年数が経っているので、冬の寒さがつらくて、『komachi』は断熱性が高いというので気に入りました」。暑さの厳しい夏の時期なら、その超断熱性能をより実感できるのではないかと、この日は二度目のご来場となりました。

夏場の超断熱性能は実感いただけましたか?と尋ねてみると「エアコン1台だけでこれだけ快適に過ごせるのはすごいですね。省エネは今とても大切なことですし、これからこういう家をもっと必要とされてくるのではないかと」納得の表情。各部屋にドアがないことにもはじめは驚いたそうですが、「間仕切りで個人の空間を確保しながらも、家族の気配を近くに感じられる。よく考えられた造りになっていると思います」と話してくれました。

「以前来場したときに、コンパクトでいいな、と印象に残っていたんですよ」というキッチン周りも、女性目線ですっきりとチェック。収納や使い勝手などを確かめながら、「こんな風になりたいね」と、娘さんと話し合っていました。



真夏に
“秋の涼しさ”を
体感

モデルハウス来場者レポート

超断熱 体感型モデルハウス『komachi』

日本一の暑さを誇る館林市の夏。
見学会が開催されたこの日も、会場に設置された温度計は38℃を示していました。
その超断熱性能で、うだるような暑さの中でも心地よく過ごせる『komachi』。
ご来場いただいた皆様からは、口々に「涼しい」の声が上がっていました。

report 4 N様 (60代・邑楽郡明和町)

ご夫婦でご来場されたN様は、お子さんたちが独立後、夫婦2人で住む家を検討中なのだとか。「シンプルでスッキリした家を」「高齢になっても動きやすいバリアフリーに」という考えに、『komachi』はピッタリだったといいます。「しっかりと堅牢に建てられている家ですね」と感心するご主人に、奥様も「それでいて圧迫感がないですね」と、落ち着いた和の風情にすっかり寛いだ様子です。壁の断熱材のサンプルを見ながら、「ただ壁が厚いだけじゃなくて、使用している断熱材(セルローズファイバー)の性能もとても高いですね」とご主人。トリプルガラスの厚いサッシにも、「これなら夏の熱帯夜に悩むこともなさそう」と、高い断熱性能を実感していただけたようです。

report 5 M様 (60代・邑楽郡板倉町)

現在のお住まいでは「エアコンの効いた部屋にいるときはいいけれど、廊下に一步出た途端に暑くて汗をかいてしまう」というM様ご夫妻。「『komachi』は家のどこにいても同じ温度ですね。これなら冷暖房にかかる光熱費も節約できそう」と、早速その超断熱性能を体感されたようです。各部屋にドアがない造りに関しては、「広々とした感じでいいですね。夫婦2人で住むなら、もっと壁が少なくてもいいくらい」とご主人。「ワンルームのような造りで省エネ効果も高いですし、オープンな方が会話もしやすいですよ」というお二人の笑顔に、ご夫婦の仲の良さがうかがえます。さらに、ご夫婦揃ってお気に入りとお話してくれたのが、大きくせり出した^{ひさし}庇です。「外壁のイメージともよく合って、ゆったりした気持ちになります。強い日差しを防いでくれるのもいいですね」と語ってくれました。

report 6 U様 (60代・館林市瀬戸谷町)

「館林の夏の暑さには毎年悩まされています」というU様。現在のお住まいでは各部屋を閉め切り、それぞれでエアコンをつけて室内を冷やしているため、オープンな造りの『komachi』の断熱効果にはじめは半信半疑だったそうです。でも実際に中に入って涼しさを体感し、「省エネのためにはオープンになっている方がいいですね。光熱費もおさえられそうです」と納得された様子です。

中でも印象に残ったのが、高性能トリプルガラスを採用したサッシだといいます。一般の外壁の断熱性能に迫る断熱性に加え、天然木をふんだんに使用した雰囲気も気に入ったポイントなんだそう。室内を見渡しながら、「やっぱり天然木は落ち着きます。シックな板張りや白い壁とのバランスも絶妙ですね」と話してくれました。

report 7 K様 (40代・館林市尾曳町)

お子さん達と一緒に、ご家族で来場して下さったK様。『komachi』を訪れてまず目に入ったのが、どっしりと落ち着いた雰囲気^{ひさし}を醸し出す大きくせり出した庇だといいます。軒天などに使用された天然木の風合いに、「木目のシックな感じがとてもいいですね」と話してくれました。

家の中に入ると、その涼しさに、「エアコンを2台くらい使っているのかと思ったら、1台しかついていないんですか」と驚いた様子。各部屋を見て回りながら、「家中の温度を一定にするために部屋に仕切りがないのですね。温度を変えずに空気を循環させる換気システムにも感心しました」。開放感のあるフラットな室内で、お子さんたちものびのびと楽しそうにはしゃいでいます。

「浴室も広々としていて素敵」という奥様も、「外の暑さを全然感じない。夏でこれなら、冬の脱衣所も寒くなさそうですね」と満足そう。「玄関とリビングが近いと『暑さや寒さがつらいのでは』と考えてしまいますが、この家ならそんな心配もないですね」と、笑顔で話してくれました。



信頼がつなぐ笑顔の絆



「新築時からずっと河本工業さんをお願いしている」という浦野さん宅。家の老朽化などを機にリフォームを行うことになりました。お伺いしたのは、工事もおとわずかで完成という時期。当日はあいにくの雨でしたが、外のお天気を忘れるほど、温かな笑顔いっぱいの取材となりました。



長い付き合いの河本さんだから、安心してお任せしました。

お宅のあちこちには、奥様の素敵な作品が。

“家の顔”玄関もキレイに。

各部屋の照明を一新して省エネ効果もアップ!



施工担当者の神澤さんと工事の思い出話。



明るく開放的な室内に変身

築約40年という浦野さんのお宅。現在はお子さんたちも独立され、2階建の家にご夫婦2人でお住まいです。「実は新築時も河本工業さんをお願いしたんですよ。確か個人住宅の第1号か2号じゃなかったかな」と話すのはご主人。20年前に一度増築を行い、それからさらに20年が経った節目ということもあり、今回のリフォームを決めたそうです。

リフォームを行ったのは各部屋の壁や天井、床の張り替え、そして外壁の塗装など。内装はほぼ全部屋の工事となったそうですが、ご主人は「当初はこんなにやる予定じゃなかったんだけどね」と笑います。「壁をキレイにしたら天井が気になったり、部屋が明るくなったので照明も変えたり。担当の神澤さんには、細かい希望を色々聞いてもらいました」。奥様も、「元々あった棚に、追加で扉を取りつけてもらいました。神澤さんには、話しやすさもあってわがままを言ってしまったけれど、気持ちよく対応してくれて感謝しています」とニコリ。さまざまな要望が反映され、家中が明るく開放的な雰囲気になりました。



細かい要望なども伝えやすかったです。



少し暗かったという廊下もスッキリと明るい印象に。

「家の良さ」を活かしたリフォームアイデア



洗面所の窓は、断熱&防音効果の高い二重サッシに。



元々の天井の枠を残して照明をチェンジ。

「壁の色は白に近い色にしたいと思っていました」と語る奥様。床材の色とのバランスを考慮しながら、サンプルをもとにさまざまな提案をしてもらったそうです。

中には、「元々住みやすく建ててもらっているし、愛着もある」というご夫婦の思いを大切にしたいアイデアも。「ダイニングの天井の模様が素敵だったので、張り替えをせず、上から塗装を行いました」と話すのは、施工担当者の神澤さん。その結果、模様がやわらかく

浮き上がり、モダンな雰囲気に仕上がりました。これにはご夫妻も「模様を活かしてキレイにもらった上、張り替えるより費用も安く済んで、言うこと無しです」と満面の笑顔です。リフォーム後のお部屋の住み心地は?と尋ねると、「とても快適ですよ。洗面台も新しいものに変えて、使い勝手もよいですね」というご主人に続き、奥様も「床がフローリングになって、お掃除もぐっと楽になりました。部屋がキレイになると、普段から『汚さないようにしよう』という意識も働きますしね」と話してくれました。

離れをリフォームして趣味の創作スペースに

お話を伺いながら気になったのが、壁にかけられた立派な油絵です。思わず見入っていると、ご主人が「それは妻が描いたんですよ」というのでビックリ。なんと奥様は趣味で油絵をはじめ、展覧会にもたびたび出品するほどの腕前なのだとか。

今回の工事では離れのリフォームも行い、床を畳からフローリングに一新。奥様が絵を描くためのアトリエスペースとなりました。「今までは2階の部屋で描いていたものですから、サイズの大きい絵などは運ぶのも大変だったんです」という奥様。快適な環境で、今後の創作活動にも力が入りそうですね。



白い壁が絵の美しさを引き立たせます。



リフォームした離れを奥様のアトリエに。

誠実な思いが築いた信頼関係

リフォームの工事期間は約3ヶ月。生活しながらの工事となりましたが、「特に大変なことはありませんでした」とご主人はいます。逆に、工事の様子を身近に感じる中で、河本スタッフとの信頼関係が生まれたのだそう。奥様は、「神澤さんをはじめ、スタッフの皆さんの情熱や丁寧な仕事ぶりは、まるで芸術家。心から感銘を受けました」と語ります。「細かい希望はもちろん、世間話もたくさんして、職人さんのことが大好きになりました。もうすぐ工事が終わるのが名残惜しいくらいです」。

奥様が、その思いをしたためた手紙を見せてくださいました。そこには、「神澤さんや職人の皆さんに出会えたことに心から感謝」という、温かな愛情あふれる言葉の数々が綴られています。ご夫婦が丁寧に希望を伝え、河本スタッフがそれに誠実に応えたからこそ、このような信頼関係を築くことができたのですね。

キレイになった部屋は、離れて暮らすお子さん達にも評判は上々だとか。「仕上がりはイメージ通り。大切に住みたいと思います」と話を締めくくったご夫妻。河本スタッフとの信頼の絆で、大満足のリフォームとなったようです。



奥様からの思いがこもったお手紙。



工事中のワンショット。大工さんと一緒にバチリ。

講師と共に、超断熱 体感型モデルハウス『komachi』を検証。

人に優しい家づくり講座

超断熱 体感型モデルハウス『komachi』へ来場された全ての方は「涼しい」と声をそろえます。しかし体感温度は人それぞれで曖昧なものです。そこで今回は毎日測定を実施しているデータの中から一番暑かった8月17日(猛暑日)を抽出して測定データを元に一緒に検証していきましょう。



須之内 英明氏 / 河本工業(株) 住宅事業部施工担当 一級建築士

検証

猛暑日にダイニングに設置されたエアコン1台だけを稼働した場合、家全体の室温はどのように変化するかを検証します。



【測定地】
群馬県館林市城町11-5 超断熱 体感型モデルハウス『komachi』
全館熱交換気調システム搭載
木造平屋建て 小町造り 64.17m² (19.37坪)

【測定日】
2016年8月17日(水) 最高気温 39.6℃(気象庁hpより)

【エアコン】※1台のみ
パナソニック製 Xシリーズ 2016年モデル CS566CX2(18畳用)

【温度計】※赤丸箇所全て
T&D社製 おんどとり ease RTR-322

結果

下記グラフは40.9℃(現地温度計)を記録した8月17日の各室温変化を10分ごとに測定した結果です。外気温の変動にも関わらず、屋内はほぼ26℃前後で一定に保たれています。各部屋(キッチン、リビング、ダイニング、玄関、寝室、洗面室、浴室)のどこでも大方、同じ温度を保っているため、どこにいても快適に過ごすことができます。

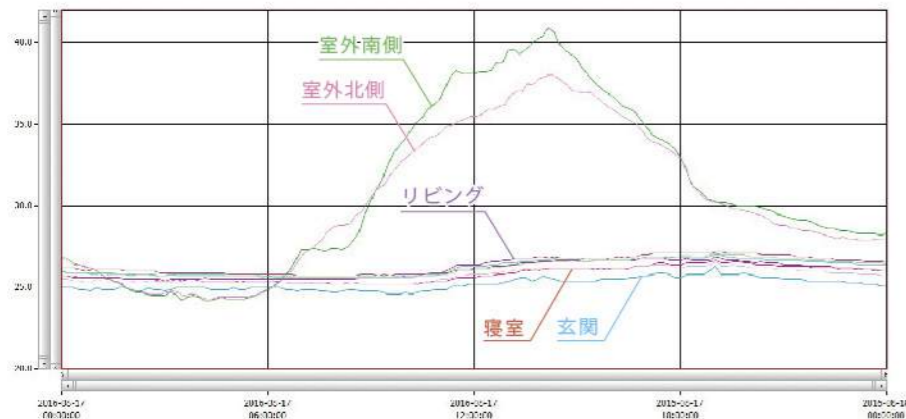
猛暑日の10分ごとの室外と各室温の変化

観測場所	最大値	最小値	平均値
室外南側	40.9℃	24.2℃	30.8℃
室外北側	38.1℃	24.3℃	30.2℃
キッチン	26.7℃	25.2℃	25.8℃
ダイニング	26.3℃	24.6℃	25.2℃
リビング	26.9℃	25.4℃	26.1℃
玄関	27.0℃	25.7℃	26.2℃
寝室	26.6℃	25.2℃	25.7℃
洗面室	27.1℃	25.6℃	26.2℃
浴室	27.2℃	25.7℃	26.3℃

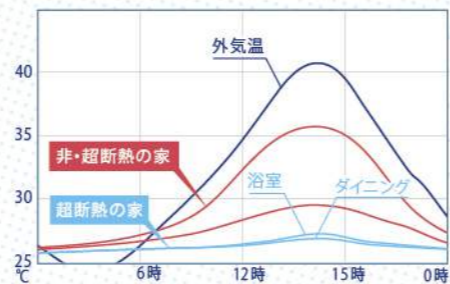
非・超断熱の家は、外気温によって影響を受けやすいことがわかりますが、超断熱仕様の『komachi』はエアコンによる制御も含まれるものの、エアコン1台のみの稼働で家中どこでも温度差が無く、時間帯による変動もありません。

温度管理システムによる測定結果

部屋ごとの温度差最大1.1℃!



断熱性能の比較結果



外気温 40.9℃でも
エアコン1台で家中どこでも
26℃前後をキープ!

超断熱仕様の家なら、40.9℃の猛暑日であっても室内温度は26.0℃で一定に保たれます。しかもエアコンは、わずかに1台だけで済むため電気代が嵩む心配はありません。

結論

- ☑ 超断熱仕様
- ☑ 全館熱交換気調システム
- ☑ 間仕切りの無いオープンな間取り

だから

家中いつでも
どこでも快適!

これこそが超断熱仕様の家『komachi』の最大の魅力です。

次号予告

真夏の猛暑日でも快適性が抜群の超断熱体感型モデルハウス『komachi』ですが、果たして真冬の寒さにも耐える能力があるのか? 測定結果を元に、その真相に迫ります。乞うご期待!



課長補佐
富岡 雅則
Masanori Tomioka

河本工業(株)
住宅事業部・二級建築士

プロが教える家づくり

2016.9
No.9

～『住宅の資産価値』～

家づくりを考えるとときに気になるのが「住宅の資産価値」。住宅の資産価値ってどこで決まるの? 資産価値の高い家はどんな家? おなじみ営業マンの富岡さん、教えてください!

テナンス費用を最小限におさえられるような性能の高い家づくりが、住宅の資産価値を守ることにつながるのではないのでしょうか。

資産価値を守るための家づくりのポイントとは?

まずポイントになるのが、耐震性や断熱性の高さです。とくに省エネ性能の高い家づくりは、今や当たり前のことといえるかもしれませんが、3年前に改正された国の省エネ基準も、2020年までにはすべての新築住宅を対象に適合が義務化されます。最近では、エネルギー収支をゼロにするZEH(ゼッチ=ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)も推進されていますね。長く快適に暮らせる家は、資産価値も下がりにくいということ。家づくりを考える際には、「住宅の資産価値を守る」という観点からも、その性能に注目してみてください。

富岡 雅則

知っとくガイド

カナダにて
自然の偉大さ
かみしめた

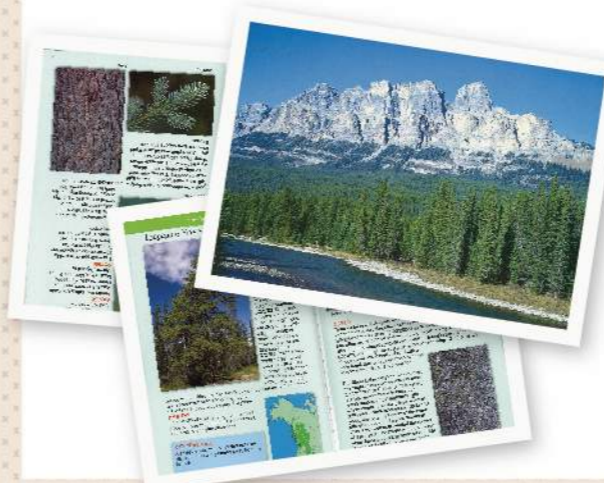
半田 公作

6月にカナディアンロッキーに行ってきました。現在木造住宅の構造材は松系を使用していますが、米松と称して木造の梁、桁材に使われています。日本の松は赤松、黒松、蝦夷松、五葉松等がありますが、カナダでは実際どんな木なのか良く理解できないのが本音のところ。そこで、今回は、カナダロッキー山脈の中腹にある針葉樹の森林地帯の木を紹介させていただきます。

はじめに松ですが、カナダではパイン材として紹介し、パイングループの中の日本と呼ばれているスプルース、ホワイトパイン、レッドパイン、ラーチ、シダー等を表しています。

次に杉、ヒノキですが、Cypress(サイプレス)と言いますが、檜はジャパニーズサイプレスです。杉、檜もありますが、何と言ってもパイン材の豊富な自然林は膨大であり日本では見られません。一言で表現すると東京から札幌までパインの木々であり、高速道路では160kmに一カ所ガソリンスタンドがある程度です。

このパインの木は300年経過した後に切り出され、世界に輸出されて日本にも流通しています。実際に見たパイン材は直径



50cm、長さ5m位(切断済)ですが、年輪の幅の狭さからして300年の歴史があることを知りました。「100年育った木は、製品でも100年持つ。」と言われていますが「なるほど」と実感しました。また、伐採も計画に基づいて実施しているので自然破壊すること無く、森林に住む生物と共生している様子がよく理解出来ました。日々の生活の中で忘れがちな事ですが、「物を大切に」「自然と向き合う」「人は生物のほんの一部である」ことを学んだカナダでした。

この秋は、
モデルハウスにでかけて
みませんか？

超断熱 体感型モデルハウス『komachi』

高齢者配慮型住宅 耐震等級3 住宅性能表示制度対応 高い資産価値

予約制 見学をご希望の方はこちらからご予約ください。

ご予約おまち
しております！

0276-72-3325 電話予約受付時間
平日9:00~17:00

河本工業ウェブサイト

超断熱専用サイト



現地までの案内動画をチェック！

マーカーにスマホをかざすと、現地までの
行き方を動画でチェックできます。



手順1 無料アプリ『COCOAR2』をダウンロードします。



Download on the
App Store

GET IT ON
Google play

QRコードからの
ダウンロードはこちら。 AppleStoreやGoogle playにて直接ダウン
ロードの場合、『COCOAR2』で検索ください。

手順2 ダウンロードしたらアプリを起動し下記のマーカー
どちらかにスマホをかざすと動画がスタートします。



『komachi』所在地：〒374-0018 群馬県館林市城町11-5

- 館林駅方面より
「炭たか炭」様 交差点を東へ、「せんべいの赤坂」様 看板の建物の手前を左折
- 市役所方面より
「セブンイレブン」様の城町交差点を北へ約150m先の変則交差点を左折、
「せんべいの赤坂」様 看板の建物の次を右折

メルマガ配信希望者募集中！ 新鮮でお得な情報をお届けします。		メルマガジンの配信をご希望の方は、下記 ご記入のうえ本誌を見学会にご持参ください。
名前		様
メールアドレス(パソコン/携帯電話)		@

見学会

テクノストラクチャー見学会のほか、予約制オープン
ハウス、真冬の超断熱体感オープンハウス等、この秋・冬
続々開催予定！ご期待ください。

編集 後記

猛暑日における超断熱性能を検証した本号。たくさん
のお客様にもその効果を体感していただく事ができました。
次号はいよいよ真冬の超断熱性能に迫ります。果たして
究極の無暖房住宅への足掛かりとなるのか!? お楽しみに！
KOMOTO STYLE 編集委員会

STAFF

- PUBLISHER:kinsaku Handa
- EDITOR IN CHIEF:Satoru Yamamoto
- EDITOR :Kentarō Kamata
- SPECIAL THANKS CREATORS
W/Tomomi Kato,P/Masaaki Konno,D/Maki Shono
- DIRECTOR:COIKI INC.

河本工業株式会社

〒374-0057 群馬県館林市北成島町 2544 TEL.0276-72-3325 FAX.0276-72-3327

www.komoto-style.jp

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは info@coiki.net まで